

補聴器のデジタル機能について



補聴器には、大きく分けて①音を大きくするはたらき、②耳を保護するために大きすぎる音を抑えるはたらき（最大の音を決める）、③周波数ごとに音の増幅を調整するはたらき（音色を変える）という3つのはたらきがあります。そしてこれ以外にも補聴器にはデジタル機能が搭載されており、様々な機能を使うことができます。使われている補聴器の種類や、メーカーによってデジタル機能の機能名に違いはありますが、今回は、代表的な機能についてご紹介します。

〔ハウリング抑制〕ハウリングは補聴器で増幅された音が、再び補聴器のマイクに入ることによって起こります。補聴器装用中に起こる例として、具体的には、食事などで顎を大きく動かした時など、イヤモールドが動き、イヤモールドと耳の穴に隙間ができた時に「ピーピー」と音が聞こえます。基本的にはイヤモールドをはめ直すことで止めることができますが、この機能を使えばハウリングの発生を抑えられ、不快なハウリングを軽減してくれます。



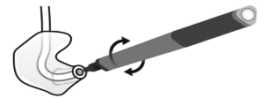
〔マイクの指向性〕一般的な補聴器のマイクの指向性は後方や横からの騒音を抑制して、正面の音声を聞きやすくしてくれます。高機能の補聴器になると360°の範囲で音声を検出し、騒音を抑制することができます。どの方向からの会話も聞き取りやすくしてくれます。

〔騒音抑制〕クーラーの音、換気扇の音、車のエンジン音など、周囲の雑音状況に応じて、雑音を小さくしてくれます。

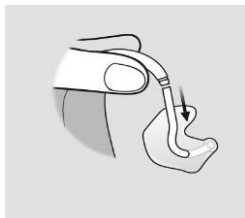
自分の補聴器には、どのようなデジタル機能があるのか気になった人は、ぜひ、補聴器特性表を確認したり、先生や販売店の方に聞いてみたりしてください。補聴器の機能を上手く活用し、自分に合った補聴器になるといいですね。

参考文献：HP「リオネット補聴器」「日本補聴器販売店協会」

イヤモールドの手入れの仕方



耳かけ型イヤモールドは補聴器から外して洗うことができます。耳かけ型イヤモールドは定期的にお手入れしてください。お手入れの方法は、柔らかい布でモールドの表面をきれいにし、マルチツールのワイヤループで穴を掃除をする、イヤモールドを水で洗うなどがあります。



普段から耳掃除をして耳の中をきれいに保つことも大切です。

①チューブとモールドをフックから外してください。引き抜くときはフックをしっかりと持ってください。しっかり持たないと補聴器が破損することがあります。

②イヤモールドとチューブを水で洗浄してください。汚れが落ちにくい場合、中性洗剤をいれたぬるま湯につけて洗浄することもできます。水分が残ったまままだと補聴器故障の原因になりますので、こよりやティッシュで水分をしっかりと拭き取りましょう。

進学・就職と情報保障について ～生徒へのインタビューと回答～

大学への進学が決定した高等部3年生にインタビューを行いました。大学見学や大学受験での情報保障や受験の対策について、ぜひ参考にしてください。

高等部3年 鶴崎陽仁さん 大学進学



進路を決めた理由は何ですか？

スポーツをすることも、見ることも好きなので、何かスポーツに携わった仕事をしたいと思い、必要な知識や資格を取得することができる大学を選びました。聴覚障害の方が在学していたり、情報保障が充実している大学であることも理由の一つです。大学には手話サークルもあり、積極的に参加したいと思っています。

大学にはどのような情報保障がありますか？

大学には『ピア・サポーター』の学生さんが活動しており、情報保障などの支援を行ってくれています。聴覚障害に対する授業支援に、「ノートテイク」・「視聴覚教材の文字おこし」・「オンデマンド授業動画への字幕挿入」・「UDトークの利用」などがあります。自分には「UDトーク」が必要だと思うので、大学にお願いしようと思っています。それ以外にも「こうだったら嬉しい、助かる」などについても伝えていこうと思います。

受験はどのような内容でしたか？どのような情報保障がありましたか？

推薦入試、共通テストでは国語と英語を受験しました。英語はリスニングの免除の配慮を受けました。私は面接がありませんでしたが、面接がある場合は、筆談や手話通訳など、どのように面接官とコミュニケーションをとるかなど事前に伝える必要があります。

受験のためにどのような準備をしましたか？

入試での配慮には、事前に申請が必要なので、どのような情報保障があるのか調べ、学校の先生や親に相談して自分に必要な方法は何なのか考えました。後は、ひたすら勉強です。受験科目が国語と英語だったので、高校3年生の春から家庭教師についてもらい、集中的に勉強をしました。

来年度以降、進学を控える後輩に対してアドバイスはありますか？

第一に、受験は自分との戦いでもあります。長時間、継続して勉強をすることは容易ではありません。迷っても自分の目標に向かって進むんだという、覚悟と忍耐力が必要だと思います。

第二に、様々な情報を普段から収集することが必要だと感じました。受験する大学についてはギリギリまであまり調べていなかったのが、直前に多くの資料に目を通す必要があり、とても大変でした。大学のHPなどにアップされる受験についての情報は、変更や訂正がされることがあるので、早くからこまめにチェックする必要があると思います。